令和２年度

自 己 評 価 報 告 書

令和２年３月 23 日

学校法人おもと会　沖縄看護専門学校

目　　次

1　学校の理念、教育目標 1

2　本年度の重点目標と達成計画 2

3　評価項目別取組状況 3

基準１　教育理念・目的・育成人材像 3

1-1　理念・目的・育成人材像 5

基準２　学校運営 8

2-2　運営方針 9
2-3　事業計画 １０
2-4　運営組織 １１
2-5　人事・給与制度 １３
2-6　意思決定システム １４
2-7　情報システム １５

基準３　教育活動 １６

3-8　目標の設定 １７
3-9　教育方法・評価等 １８
3-10　成績評価・単位認定等 ２１
3-11　資格・免許の取得の指導体制 ２２
3-12　教員・教員組織 ２３

基準４　学修成果 ２５

4-13　就職率 ２６
4-14　資格・免許の取得率 ２７
4-15　卒業生の社会的評価 ２８

基準５　学生支援 ２９

5-16　就職等進路 ３０
5-17　中途退学への対応 ３１
5-18　学生相談 ３２
5-19　学生生活 ３３
5-20　保護者との連携 ３６
5-21　卒業生・社会人 ３７

基準６　教育環境 ３８

6-22　施設・設備等 ３９
6-23　学外実習、インターンシップ等 ４０
6-24　防災・安全管理 ４１

基準７　学生の募集と受入れ ４３

7-25　学生募集活動 ４４
7-26　入学選考 ４６
7-27　学納金 ４７

基準８　財　務 ４８

8-28　財務基盤 ４９
8-29　予算・収支計画 ５１
8-30　監査 ５２
8-31　財務情報の公開 ５３

基準９　法令等の遵守 ５４

9-32　関係法令、設置基準等の遵守 ５５
9-33　個人情報保護 ５６
9-34　学校評価 ５７
9-35　教育情報の公開 ５９

基準１０　社会貢献・地域貢献 ６０

10-36　社会貢献・地域貢献 ６１
10-37　ボランティア活動 ６４

4　令和２年度重点目標達成についての自己評価　　６５

※評語の意味
4　適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
3　ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
2　対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
1　全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1　学校の理念、教育目標

教　育　理　念	教　育　目　標
教育理念 本校の教育理念は、真・善・美の全人教育すなわち、豊かな知性、感性、強い意志のある人間を形成し、「生命の尊さ」、「人間愛」を育み、看護職への誇りと向上心を培う。専門職業人として現代社会や保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に対応し、社会に貢献できる有能な人材を育成する。 教育目的 教育の理念に基づき、豊かな教養と人格を備え、主体的に学習し、問題解決のできる有能な看護師を育成することを目的とする。	１．人間の生命の尊さと健康の意味・価値を理解し、人格を尊重して、心のこもった行動を取る習慣を身につける。 ２．知性及び感性を磨き、調和のとれた社会人として自己成長できる基礎を身につける。 ３．問題を正しくとらえ、系統的に解決できる基本的能力を身につける。 ４．自分なりの看護観を持ち、倫理に基づいた看護を提供する能力を身につける。 ５．保健・医療・福祉制度を統合的に理解し、多職種と協働する基本的態度を身につける。 ６．地域社会の中で生活する対象を理解し、適切な援助ができる能力を身につける。 ７．専門職業人として、主体的に継続して学習する研究的態度を身につける。

2　本年度の重点目標と達成計画

令和２年度重点目標	達成計画・取組方法
１．本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 　豊かな知性、感性、強い意志のある人間を育む ２．教育目標の達成 ３．学生の臨地実習環境の整備 ４．国家試験全員合格への支援…目標 100％合格 ５．学校運営の安定 ６．学生へのサービスの充実	１．本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 　日常の学生生活指導の中で、「知性及び感性を磨くこと」、「疑問を持つこと」、「自己の意志決定を明確にできること」そして「倫理観に基づく行動をとること」を習慣づけるよう支援する。 ２．教育目標達成のための努力 　１）学生の主体的な学びを育むための教育方法の充実 　　⑴プロジェクト学習　⑵シミュレーション教育⑶協同学習 　２）非常勤講師の安定的確保及び継続困難時を想定した対応 　３）教員の資質向上のための研修 　　⑴日本看護協会学術集会をはじめ各種看護学会への参加 　　⑵沖縄県看護教育協議会　専任教員再教育研修の継続 　　⑶臨床実践力の維持・向上のための研修、他 　４）教職員の職責及び業務分掌の実践と評価 　５）教員のモチベーションアップのための目標管理の実施および評価 　６）専任教員及び実習指導教員の安定的充足 ３．学生の臨地実習環境の整備 　１）安定した実習施設の確保及び急な断りへの備え 　２）効率的な実習指導体制づくりの強化(実習施設との連携・協力体制) 　３）リスクマネージメント指導及び守秘義務遵守の指導 ４．国家試験全員合格への支援…目標 100％合格 　１）各学年で計画した国家試験対策の実施と評価 　２）成績不振者への支援の徹底 ５．学校運営の安定 　１）学校法人の円滑な運営 　２）様々な通信手段により発生する危険から学校・学生の安全を図る。 　３）看護学校自己点検・自己評価の推進と公表 　４）予算すなわち決算の遵守 ６．学生へのサービスの充実 　１）おもと会こころと体のヘルスケアセンターの紹介 　２）年齢差のある学生への丁寧な対応 　３）行動や学力、健康維持に問題のある学生への支援と家族との連携 　４）諸感染症予防の指導 　５）防災訓練の実施　⑴火災時避難訓練　　⑵地震・津波時訓練 　６）登下校中及び学内での安全対策　⑴交通安全指導　⑵生活安全⑶名札の徹底

3　評価項目別取組状況

基準１　教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・教育目的・教育目標・育成人材像は明確に定められている。また、教育目的・教育目標・育成人材像や教育課程は教育理念を実現する内容となっている。それらは、入学式当日の保護者説明会、学生後援会総会等で学生や保護者に周知しており、年度末にはホームルームで学生と共に読み合わせ達成度の確認をしている。 教育課程は厚生労働省の保健師助産師看護師学校養成所指定規則を満たしている。また、教育内容は実習施設や卒業生からの意見も参考にし、社会の状況や学生のレディネスに対応していけるよう教員全員で毎年見直しを行っている。自ら学ぶ学生を育む教育方法として、プロジェクト学習、シミュレーション教育、ユニフィケーションシステム、協同学習を導入している。 教員採用に関しても保健師助産師看護師学校養成所指定規則を満たしており、看護教育に対する情熱と専門領域の臨床経験を重要視し選定している。 看護学臨地実習は厚生労働省に申請認可された実習施設の協力を得ている。また各実習施設の理解を得るための説明会を重ね、臨床実習指導者の協力を得ながら人材を育成している。 課題 社会の変化に伴い看護基礎教育に求められる教育内容も変化している。教育理念に基づき、目的・目標カリキュラムの再検討が必要である。	現在、カリキュラム検討委員を中心に全教員で現カリキュラムの編成と新カリキュラム構築に向けての準備を進めている。	プロジェクト学習 学生の主体的な学習への取り組み支援として入学前からプロジェクト学習を取り入れている。それはキャリアポートフォリオとして学生のキャリア支援へつながる。 シミュレーション教育 看護実践力の向上を目指しシミュレーション教育方法を取り入れており、ほとんどの領域で実践されている。 ユニフィケーションシステム 学内での基礎技術演習（基礎看護学、老年看護学、小児看護学、在宅看護論、精神看護学）では、実習施設の指導者の参加協力を求め双方の教育力向上を目的に意見交換をしている。 協同学習 学生の主体的な学習への取り組み支援として全員参加型の協同学習の手法を取り入れている。アクテイブラーニングの一つであり学生の主体性に繋がる。

1-1　理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1　理念・目的・育成人材像は、定められているか	①理念に沿った目的・育成人材像になっているか ②理念等は文書化するなど明確に定めているか ③理念等において看護専門職の特性は明確になっているか ④理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか ⑤理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか ⑥理念等の浸透度を確認しているか ⑦理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	4	①②目標・人材育成像は理念を実現する内容であり明文化している。 ③理念には人として看護師としての普遍的な哲学が含まれており看護専門職としての特性は明確である。 ④各領域や科目ごとに目標・計画を明確にしている。 ⑤⑥学生や関係団体に直接説明し周知し、同時に浸透度を確認している。保護者に対しては入学時に周知している。 ⑦毎年カリキュラムの評価修正を、教育理念の実現に努めている。	社会の変化に伴い、看護基礎教育に求められる、教育内容も変化している。目的、目標、教育内容の検討が必要。	一貫性のある、カリキュラム構築に向けて全員で取り組んでいる。	看護六法 教育事業計画書 学生便覧 シラバス 実習要項 学校案内 カリキュラム検討委員会会議資料
1-1-2　育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	①看護関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか ②教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において看護関連業界等からの協力を得ているか	4	①看護師として求められる資質は人材育成像として明確にしている ②教育課程の策定は厚生労働省のガイドラインに基づく内容を十分満たしており、実習施設からの意見も参考にしている。			教育事業計画 学生便覧 シラバス 実習要項 学校案内 カリキュラム検討委員会会議資料

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	③専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において看護関連業界等からの協力を得ているか ④学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、看護関連業界等からの協力を得ているか ⑤教材等の開発において、看護関連業界等からの協力を得ているか		③教員採用は専門領域の臨床経験を重要視し看護関係の協力を得ている。 ④実習は厚生労働省に申請認可された実習施設の協力を得ている。また各実習施設の理解を得るための説明会を重ね、実習指導者の協力を得ながら人材を育成している。 ⑤学内演習に実習施設の指導者の参加協力を求め双方の教育力向上を目的に意見交換をしている。			ユニフィケーションシステム
1-1-3　理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	①理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか ②特色ある職業実践教育に取組んでいるか	4	①②臨地での看護学実習をはじめ、主体的な学習への取り組みと実践能力の向上を目指し、プロジェクト学習やシミュレーション教育、協同学習等を取り入れている。			教育事業計画 シラバス 実習要項 学校案内 カリキュラム検討委員会会議資料

1-1-4　社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	①中期的（3～5 年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか ②学校の将来構想を教職員に周知しているか ③学校の将来構想を学生・保護者・看護関連業界等に周知しているか	4	①教育事業計画の基本方針に沿って、経営戦略を立案している。 ②経営戦略は年度初めに教職員に説明している。 ③学校の将来構想は教職員への周知にとどまっている。	③学校の将来構想を学生・保護者・看護関連業界等に周知していない。	③周知する方向で準備を進める。	教育事業計画 学生便覧 シラバス 実習要項 学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・教育目標・人材育成像は明確に定められている。 教育課程は教育理念を実現するものであり、具体的に明文化し学生や保護者に周知している。また、教育課程は社会の変化や学生のレディネスに対応しながら評価修正している。教育課程の策定や教員採用、臨地実習施設に関しては厚生労働省のガイドラインに基づく内容を十分満たしており、看護関係団体の協力を得ている。 現カリキュラムの編成と新カリキュラム構築に向けての準備を進めている。中期計画は年度初めに事務長が教職員に説明している。	３年間のビジョン・ゴールを設定し、各学年終了時に自己のポートフォリオ発表を行う。学びのプロセスを発表することで、他者と共有し自己の成長を確認し合う。プロセスにおいては入学時の「パーソナルポートフォリオ」から卒業時に「キャリアポートフォリオ」へと変化したことが分かる。自己の目標管理が可視化できることから学生・教職員ともに取り組み、学生が卒業後もキャリアストーリーを描けるように各学年で関わっている。

基準２　学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・教育目的・教育目標の達成にむけて運営方針を明確に定め、教育事業計画書に明文化している。年度末には教職員全員で学校自己点検自己評価を行い、学校関係者評価の結果も踏まえ重点目標を定め達成に向け全員で取り組んでいる。 学校法人おもと会理事会及び評議員会は、学校法人おもと会寄附行為に基づき予算理事会、決算理事会を開催し議事録を作成している。 学校運営に関して教職員及び学生会は、組織規程、組織図、各会議等の決定権限、委員構成等を明文化し教職員や学生に周知している。議事録は開催毎に作成保存している。 教職員の採用基準・採用手続きは規程等で明確にしており、教職員の採用に関しては適切な採用広報を行い、関係団体の協力も得ながら必要な人材を確保している。将来的に看護教育に携わる可能性のある看護師にむけアンテナを高くし声掛けを継続する。 おもと会で人事考課制度は整備されており事務部門から実施している。 教職員支援として「おもと会心と体のヘルスケアセンター」を整備している。 教職員の給与や昇任・昇給等に関する基準・規程は整備され適切に運用している。情報管理システムを構築し、情報の共有化・効率化を図っている。システムのメンテナンス及びセキュリティー管理はおもと会組織内のシステム課職員が常時対応し、適切に行っている。		「心と体のヘルスケアセンター」 教職員、学生に向けておもと会の「心と体のヘルスケアセンター」が整備され、予約し無料でカウンセリングが受けられる。

2-2　運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1　理念等に沿った運営方針を定めているか	①運営方針を文書化するなど明確に定めているか ②運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか ③運営方針を教職員等に周知しているか ④運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4	①②③④学校の運営方針は教育事業計画書に明確に定め文書化している。 年度初めに教職員に周知し重点目標達成に向け計画や具体的実施策を決定している。 中間期と年度末の集中会議で評価修正を行っている。			教育事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・教育目標を達成するために運営方針を教育事業計画書に明確に定め明文化している。学校評価（自己点検自己評価）結果を踏まえ重点目標の達成に向け教職員で具体的に計画し実施している。学校長は年度初めに教職員に説明し内容の確認を行っている。	

2-3　事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1　理念等を達成するための事業計画を定めているか	①中期計画（3～5 年程度）を定めているか ②単年度の事業計画を定めているか ③事業計画に予算、事業目標等を明示しているか ④事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか ⑤事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4	①ICT 教育を見据えて office365 と Wi－Fi 環境を整備している。 ②③④⑤教育事業計画は文章化され年度初めに理事長、教職員に周知している。 半期ごとに事業計画の達成度を教職員会議で評価修正している。			教育事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育事業計画は教職員で計画実施評価している。	教育事業計画書は冊子になっており教職員に配布される。教育理念をはじめ、学校組織図、重点目標、教育事業計画、会議計画、会議組織図、教職員の職務分掌、教員役割、研修計画、年間業務、キャリア別達成度などが挿入されており業務をスムーズに行いながら重点目標を達成していけるものである。

2-4　運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1　設置法人は組織運営を適切に行っているか	①理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか ②理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか ③寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	①②③学校法人理事会、評議員会は５月と３月に行っている。また、事業内容に関して適切に審議し議事録を作成している。寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正している。			学校法人 おもと会寄附行為 理事会会議資料 評議員会会議資料 教育事業計画書 学生便覧
2-4-2　学校運営のための組織を整備しているか	①学校運営に必要な事務及び教員学生組織を整備しているか ②現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか ③各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか ④会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか ⑤会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか ⑥組織運営のための規則・規程等を整備しているか ⑦規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	①②③事務及び教員学生組織、組織規程や組織図を整備し教職員や学生に周知している。 ④⑤⑥⑦各会議や委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にし議事録は開催毎に作成保存している。			学校法人 おもと会寄附行為 理事会会議資料 評議員会会議資料 教育事業計画書 学生便覧

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	⑧学校の組織運営に携わる教職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか		⑧教職員には研修や学会参加が計画されている。年に２回ラダーに沿ったキャリア面談を行っている。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会及び評議員会を関係者の協力を得て寄附行為に基づき適切に開催し運営に関する報告や確認、審議を行い適切に議事録作成している。 学校を運営するための事務及び教員組織や学生会組織を整備している。組織規程や組織図を明文化し教職員や学生に周知している。 各会議、委員会等の決定権限、委員構成等は規程等で明確にしており議事録は開催毎に作成保存している。	

2-5　人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1　人事・給与に関する制度を整備しているか	①採用基準･採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか ②適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか ③給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか ④昇任･昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか ⑤人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	①②採用基準・採用手続きは明確で適切に運用している。看護協会のナースセンターやハローワークで採用広報を行い、人材を確保している。将来的に看護教育に携わる可能性のある看護師にむけアンテナを高くし声掛けを継続する。 ③④給与支給や昇任・昇給等に関する基準・規程は整備され適切に運用している。 ⑤おもと会全体の人事考課制度があり事務部門から実施している。			就業規則 人事規定 給与規定 昇給・昇格規定 教育事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員の採用基準・採用手続きは規程等で明確化し、適切に運用している。また、教職員の採用に関しては看護協会のナースセンターやハローワークで採用広報を行い、関係団体の協力も得ながら必要な人材を確保している。日頃から将来的に看護教育に携わる可能性のある看護師にむけアンテナを高くし声掛けを継続する。 教職員の給与支給や昇任・昇給等に関する基準・規程は整備され適切に運用している。 おもと会全体の人事考課制度が整備されており事務部門から実施している。	

2-6　意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1　意思決定システムを整備しているか	①教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか ②意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか ③意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4	①②③教育事業計画書において学校組織図や会議組織図を明確にしており教職員へ周知している。			教育事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務・財務等の業務処理において、教育事業計画書において学校組織図や会議組織図を明確にしており教職員へ周知している。	

2-7　情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1　情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	①学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか ②情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか ③学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか ④データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか ⑤システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4	①②③④情報管理システムを構築し、情報の共有化･効率化を図っている。今年度 office365 が導入された。 ⑤システムのメンテナンス及びセキュリティー管理は適切に行っている。また、システムの不具合に対してはおもと会組織内のシステム課職員が常時対応している。			バックアップシステム 共通フォルダ 　おもと会統括本部 学籍管理 　契約管理会社

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報管理システム office365 を導入し、情報の共有化･効率化を図っている。システムのメンテナンス及びセキュリティー管理は適切に行っている。また、システムの不具合に対してはおもと会組織内のシステム課職員が常時対応している。	

基準３　教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・教育目的・教育目標を反映した教育課程を編成しており、厚生労働省の保健師助産師看護師指定規則を遵守している。教授科目の目標や教育内容、単位数･時間数は適切であり、卒業要件を満たし学生便覧や学校案内等に明示している。授業形態や授業方法も適切であり、シラバスは教育内容や教育方法を検討しながら毎年評価修正している。 在校生の授業評価や卒業生（卒後 6 か月目）の意見は教育課程に反映させている。また、学内演習に協力して頂く TA からの意見や、実習指導者協議会での意見は講義や演習・実習へと反映させている。 キャリア教育に関して、学生は入学前学習会で各個人のポートフォリオを作成しその後 3 年間を通してキャリアポートフォリオを作成している。キャリアアップの動機づけとして認定看護師免許を取得している卒業生の講話を実施している。 成績評価の基準は学生便覧に明示し入学時に学生および保護者に説明している。単位認定および卒業認定は認定会議において適正に判定している。また、社会人入学生に対しては、入学前の履修科目を規定に照らして単位認定している。 看護師国家試験合格支援として、全員合格を目指し教職員全員で支援している。国家試験不合格者に対しても在学生同様の支援を継続している。 H30 年度より非常勤講師へ授業評価について理解いただき評価結果を返している。 次年度から 2022 年の新カリキュラム施行に向けて教育課程の編成方針、実施方針を具体的に進める。 <u>課題</u>：①教育課程の編成方針、実施方針の検討 ②教育到達レベルを明確にする必要 ③全学年一貫した国家試験対策策定の必要 ④現行カリキュラムの総括的評価	①②新カリキュラム検討会議において教育課程の編成方針、実施方針を具体的に策定する。 ①②新カリキュラム検討会議において修業年限に応じた教育到達レベルを明確にする。 ③国家試験対策に関するプロジェクトチームを編成し、切れ目のない国家試験対策を策定する。 ④カリキュラム検討委員会、領域会議、カリキュラム検討会議等で、計画的に現行カリキュラムの総括的評価を行う。	<u>学生へのキャリア教育支援</u> 入学前にポートフォリオ作成を体験する。 入学後は 3 年間を通してキャリアポートフォリオを作成していく。 認定看護師等の特別講義の実施 卒業生の来校時や実習施設訪問時に意見を頂き、キャリア教育に反映させている。 <u>看護師国家試験合格支援</u> 各学年での対策会議 適時学生の面談及び指導 全国模擬試験受験準備 校内模擬試験の作成 特別講義の準備 教員管理で 20 時までの教室使用 日曜祝祭日 少人数特別クラスの支援 国家試験手続きの指導 国家試験当日の支援 合格発表日の支援 不合格者の支援

3-8　目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	①教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか ②教育に関する方針を定めているか	4	①②教育課程の編成方針、実施方針は明確に定め文書化している。 新年度より新カリキュラム検討委員会、カリキュラム全体会議にて検討を進めている。	①②新カリキュラム施行に向けて、教育課程の編成方針、実施方針の検討を具体的に進める時期である。	新カリキュラム検討会議において教育課程の編成方針、実施方針を具体的に策定する。 引き続き各領域を中心とした教育内容の構築を進めていく。	カリキュラム検討委員会資料 学生便覧 学校案内 シラバス 実習要項
3-8-2　修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	①目標とする教育到達レベルを明示しているか ②教育到達レベルは、理念等に適合しているか ③看護師免許の取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか ④看護師免許の取得指導・支援体制を整備しているか	4	①②目標とする教育到達レベルは明示されており、理念等に適合している。 ③看護師免許の取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしている。 ④看護師免許取得に向けて国家試験対策が整備されている。	①②新カリキュラム策定に伴い、修業年限に応じた教育到達レベルを明確にする必要がある。 ④看護師国家試験免許取得に向けて、全学年を通し一貫した国家試験対策を策定する必要がある。	①②新カリキュラム検討会議において修業年限に応じた教育到達レベルを明確にする。 ④国家試験対策に関するプロジェクトチームを編成し、切れ目のない国家試験対策を策定する。	カリキュラム検討委員会資料 学生便覧 学校案内 シラバス 実習要項 国家試験対策

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念に沿った教育課程を編成している。 看護師免許の取得は当然の目標であり免許取得に向けて教育課程は構築されている。 新カリキュラム施行に向けて教育課程の編成方針、実施方針の検討が計画的に行われた。引き続き各領域を中心とした教育内容の構築を進めていく。	

3-9　教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	①教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。 ②議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか ③授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか ④修了に係る授業時数、単位数を明示しているか ⑤授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか ⑥授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか ⑦授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか ⑧看護師養成教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4	①②③④教育課程の編成はカリキュラム検討委員会を中心に行い、教務会議を持って決定している。また、編成過程は議事録に記載されている。授業科目は適切に配分され、授業時間数・単位数を明示している。 ⑤⑥⑦⑧⑨各科目の目標、教育内容、教育方法（授業形態・授業方法）は適切であり工夫されている。 ⑩シラバスを作成しており、教員全員で毎年評価修正をしている。 ⑪教育課程の編成はカリキュラム検討委員会を中心に行っている。検討内容は適宜カリキュラム全体会議へ提案し、全体での合議を重ね、全教員の意向が反映された教育課程編成に努めている。	⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ 新カリキュラム施行に向けて現行カリキュラムの総括的評価（各科目の目標、教育内容、教育方法）を実施する必要がある。	⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ 引き続きカリキュラム検討委員会、領域会議、カリキュラム検討会議等で、新カリキュラムの教育課程完成を目指す。	学生便覧 シラバス 実習要項 時間割 カリキュラム検討委員会資料

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	⑨看護師養成教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか ⑩授業科目について授業計画（シラバス）を作成しているか ⑪教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか		⑨⑩教育内容・方法・教材等について工夫しておりシラバスは毎年見直し作成している。 ⑪各領域において、地域包括ケアの内容を反映させた教育課程の構築に取り組んでいる。	新年度電子シラバス導入に向けての移行期間である。	電子シラバスの稼働に向け、導入の手引きに沿って整備を進めていく。	電子シラバス導入の手引き 新カリキュラム検討内容の議事録
3-9-2　教育課程について外部の意見を反映しているか	①教育課程の編成において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか ②教育課程の編成において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか ③看護師養成教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	①②③在校生の授業評価や卒業生の意見を教育課程に反映させている。 また、実習施設の指導者に学内演習協力して頂き意見を反映させている。 実習指導者協議会の場や直接施設を訪問して意見交換を行い教育課程へ反映させている。 カリキュラム編成委員会を継続している。			授業評価アンケート ＴＡアンケート 卒業生アンケート（卒後 6 ヶ月カミングスクール） カリキュラム編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	①キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか ②キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4	①②入学前にポートフォリオ作成を体験し、入学後は 3 年間を通して各自キャリアポートフォリオを作成している。また、年度末にポートフォリオをシェアし、卒業前には認定看護師等（卒業生）の特別講義を行っている			学生のキャリアポートフォリオ 卒業生の資格･免許取得一覧表

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	③キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか		③卒業生の来校時や実習施設訪問時に意見を頂き、キャリア教育に反映させている。			
3-9-4　授業評価を実施しているか	①授業評価を実施する体制を整備しているか ②学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか ③授業評価の実施において、看護関連業界等との協力体制はあるか ④教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	2	①②④前期・後期終了時に授業評価を実施している。評価結果は専任教員非常勤講師へ個々に返しており、授業改善に役立っている。また、教職員が閲覧できる。学生へ授業終了時点でのアンケートを適宜実施している。 ③学内演習の授業評価をTA に依頼している。		①②④引き続きタイムリーな授業評価が行えるよう返却時期、方法等計画的に見直す。	授業評価分析結果

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程は教育目的・教育目標を反映しており、厚生労働省の保健師助産師看護師学校養成所指定規則を遵守している。科目の目標や教育内容、単位数・時間数は適切であり、卒業要件は明示している。授業形態や授業方法は適切であり工夫されている。 シラバスは毎年評価修正している。電子シラバスの導入によりアクセスの利便性を高めるよう準備を進めている。 在校生の授業評価や卒業生（卒後 6 か月目）の意見は教育課程に反映させている。また、学内演習に参加協力して頂く実習施設の指導者（TA）からの意見や実習指導者協議会での指導者からの意見は講義や演習・実習へと反映させている。 キャリア教育に関しては、キャリアポートフォリオを活用し 3 年間を通して自分のキャリアについて考える機会を準備している。	キャリア教育として、入学前にポートフォリオ作成を体験させ、入学後は 3 年間を通してキャリアポートフォリオを作成している。その支援の一つとして認定看護師等の特別講義を行っている。また、卒業生の学来校時や実習施設訪問時に意見を頂き、キャリア教育に反映させている。 キャリアアップの動機づけとして認定看護師免許を取得している卒業生の講話を実施している。

3-10　成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	①成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか ②成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか ③入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4	①②成績評価の基準は学生便覧に明示し入学時に学生および保護者に説明している。また、単位認定および卒業認定は認定会議において適正に判定している。 ③入学前の履修科目については規定に照らして認定している。			保健師助産師看護師学校養成所指定規則 学生便覧 シラバス 実習要項 単位認定会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価の基準は学生便覧に明示し入学時に学生および保護者に説明している。単位認定および卒業認定は認定会議において適正に判定している。 入学前の履修科目については看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに照らして認定している。	

3-11　資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1　目標とする免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	①取得目標としている免許の内容・取得の意義について明確にしているか ②免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	①②看護師免許の内容に関連する授業科目や国家試験対策を明確にしている。			学生便覧 時間割 シラバス
3-11-2　免許取得の指導体制はあるか	①免許の取得について、指導体制を整備しているか ②不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	①国家試験対策計画 全国・校内模擬試験 特別講義 20 時までの教室使用 祝祭日の学校使用 特別少人数クラス 学生の面談及び指導 国家試験手続き 国家試験当日の支援 合格発表日の支援 ②不合格者に対しては、卒業後も全国模擬試験の受験や国家試験手続きなどの支援をしている。	新型コロナウィルス感染症拡大に備え、学習環境を整えることが急務となる。	引き続き感染拡大予防のための物理的学習環境の整備、オンラインによる指導体制の構築、感染対策を踏まえた国家試験受験までの支援などを継続する。	学生便覧 シラバス 国家試験対策計画表 全国模擬試験結果 特別少人数クラス 国家試験対策教室管理当番表 卒業生の国家試験対策資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師免許取得に向けて看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインを遵守し科目はすべて必修科目となっている。国家試験全員合格を目指し国家試験対策を学生へ周知し教職員全員で支援している。感染拡大予防のための物理的学習環境の整備、オンラインによる指導体制の構築、感染対策を踏まえた国会試験受験までの支援を実施した。 国家試験不合格者に対しては、卒業後の状況に合わせて支援を行っている。	国家試験対策 各学年での対策会議　適時学生の面談及び指導 全国模擬試験受験準備　校内模擬試験の作成　特別講義の準備 教員管理で 20 時までの教室使用　少人数特別クラスの支援 国家試験手続きの指導　国家試験当日の支援 合格発表日の支援　不合格者の支援

3-12　教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	①授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか ②授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか ③教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか ④教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか ⑤教員の採用計画・配置計画を定めているか ⑥専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか ⑦教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか ⑧教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	①②③厚生労働省の保健師助産師看護師学校養成所指定規則を遵守している。 ④⑤⑥教員の採用計画は長期的視点で定めている。 ⑦教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めている。 ⑧年度末に集計結果を公表し調整している。 平均授業時間数　　時間 平均学生数　　人			保健師助産師看護師学校養成所指定規則 就業規則 教員名簿 教育事業計画書

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	①教員の専門性、教授力を把握・評価しているか ②教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか ③関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか ④教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4	①教員の専門性や教授力を把握し評価している。 ②④全国学会での研究発表や研修会参加は予算確保されている。 ③沖縄県看護協会の研修会や学会、沖縄県看護教育協議会の教育研修等で教育力の向上に取り組んでいる。			教育事業計画書 学会研修参加計画 学会発表一覧
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	①分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか ②教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか ③授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか ④専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4	①②③④授業に関しては専門領域別の組織体制であり、学生指導に関しては学年担当制である。いずれも負担軽減を考慮し複数体制である。 業務分担は年度末に評価修正し年度初めの会議で周知している。			教育事業計画書 教育内容の構築

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の資格・要件に関しては厚生労働省の保健師助産師看護師学校養成所指定規則を遵守している。教員の採用計画は長期的視点で定めており、募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めている。教員の資質向上のための対策は取られている。	教員の資質向上支援 全国学会、県内学会、各研修会等へ全教員参加できる。 教員養成講習会（8 か月）や教務主任養成講習会（6 か月）受講の他に県外（10 万円以内）、県内（1 万円以内）が保障されている。

基準４　学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率100%を目標としている。学生は教育システムが整いキャリア形成ができる職場を希望しており第一希望の職場への就職を支援している。3月に1・2年生を対象に学内で就職説明会を実施している。学生は自主的に業者主催の就職説明会や病院主催のオープンハウスへ参加しながら就職に関する視野を広げている。進路担当教員は適時アンケート調査を行い就職状況の把握と教職員への周知を図っている。 令和2年3月時点で卒業生2347名を輩出し、県内外へ就業・進学し、活躍している。 看護師国家試験合格は100%を目標としており、令和2年度の国家試験合格率は100%であった。現行の国家試験対策に、国家試験専門業者の対策講座を導入したことは効果的であった。 卒業生の社会的評価に関しては、学校長が実習病院を訪問して卒業生の動向を把握している。また県外就職先に関しては、就職担当事務職員が連携を図りながら把握している。卒業生の卒業後の免許及び資格取得の動向を把握し在学生へも紹介している。 課題：学生のニーズに合致した国家試験対策講座を提供する必要がある。	①次年度国家試験対策講座を学生のニーズに沿って精選する。	

4-13　就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1　就職率の向上が図られているか	①就職率に関する目標設定はあるか ②学生の就職活動を把握しているか ③専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか ④就職に関し関連業界等と連携しているか ⑤就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	①②就職率 100%を目標としており、3 月に1・2年生対象に学内で就職説明会を実施している。学生は自主的に業者主催の就職説明会へも参加している。 ③⑤就職状況は把握しており、担当者を決め適切に管理している。 ④募集要項やオープンハウス情報などは掲示している。マイナビの導入による就職支援	新型コロナウィルス感染拡大に伴う対面での就職情報共有などが難しい状況が発生し、進路指導等に工夫が必要である。	マイナビによる履歴書作成指導を Web 上で開催する。Web 面接に備えての面接練習を随時実施する。	進路一覧表 県内県外就職説明会資料 学生アンケート 看護師募集資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率 100%を目標としている。教育システムが整いキャリア形成ができる第一希望の職場への就職を支援している。 3 月に1・2年生対象に学内で就職説明会を実施している。学生は業者主催の就職説明会や病院主催のオープンハウスへ参加しながら就職に関する視野を広げている。 進路担当教員は適時アンケート調査を行い就職状況の把握と教職員への周知を図っている。 新型コロナウィルス感染拡大に伴う対面での就職情報共有などが難しい状況が発生し、進路指導等に工夫が必要である。	

4-14　資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1　資格･免許取得率の向上が図られているか	①免許取得率に関する目標設定はあるか ②特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか ③合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか ④指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。	4	①国家試験合格 100%を目標とする。 ②従来の対策に国家試験専門業者の対策講座を 18 時間導入した。 ③合格実績･合格率共に全国水準を上回る。 ④国家試験対策研修へ教員を派遣し、毎年評価修正を行っている。	②国家試験対策講座の科目によって学生の参加率の差がみられ、学生のニーズに合致した国家試験対策講座を提供する必要がある。	②次年度国家試験対策講座を学生のニーズに沿って精選する。 ④合格実績のさらなる向上をはかるため､3 年間一貫した国家試験対策を計画・導入する。	学生便覧 国家試験対策計画表 全国模擬試験結果 過去 3 年間の国家試験合格一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師国家試験合格 100%を目標とし､国家試験合格に向けた対策を各学年で実施している。 国家試験合格実績･合格率共に全国水準を上回る。国家試験対策委員を中心に研修会で情報を得ながら国家試験対策の見直しを行っている。 令和 2 年度の国家試験合格率は 100%であり、現行の対策に国家試験専門業者の対策講座を 18 時間導入した事は効果的だった。	

4-15　卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	①卒業生の就職先を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか ②卒業生のキャリアアップ等を把握しているか	4	①年度末に学校長が実習病院を訪問して卒業生の動向を把握している。県外就職先に関しては、就職担当事務職員が連携を図りながら把握している。 ②沖縄県看護協会の資料から卒業生の専門・認定看護師、特定看護師の資格取得者は把握している。			卒業生の資格･免許取得一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校長が実習病院を訪問して卒業生の動向を把握している。また県外就職先に関しては、就職担当事務職員が連携を図りながら把握している。 沖縄県看護協会の資料から卒業生の認定看護師の資格取得者は把握している。	

基準５　学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生への就職等進路に関して就職担当教員と就職担当事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況はデータ化し学内で共有している。 学生の学業継続の相談に関しては、学年担当教員や学校長が保護者を交えて面接を実施している。また、学生の心身への支援として、おもと会「心と体のヘルスケアセンター」を整備している。センターの職員が4 月に学生全員へセンターの役割や機能を紹介し相談しやすい環境を準備している。学年担当教員は４月に全学生の個人面談を実施している。令和２年度退学者は０名であった。 学生の経済面に対する支援として困窮している学生には各奨学金の紹介や個別相談に応じている。大規模災害発生時及び家計急変時等に対する支援制度は整備している。 定期健康診断、予防接種計画は保健師助産師看護師学校養成所指定規則に準じている。学校医はおもと会の医師が担当しており、有所見者への対応は各学年健康管理担当教員が行っている。 卒業生への支援として同窓会が結成され、活動の活性化に向けた支援をしている。卒業後６か月目の支援としてカミングスクールデイを開催している。 <u>課題</u> ①学生の情報共有が難しい。 ②教務室に直接相談しにくい環境がある ③学生自身が意識的に自己の健康管理を行える 問題発生時の教員間での具体的な連絡方法（アルゴリズム）が整っていない。	①②学生が相談しやすい環境整備が必須(専任カウンセラーの常駐等)。 教員全体で情報共有する体制づくり。 ③学生自身で意識的にセルフケアができる支援体制。 ④図式化で全体周知ができるよう作成する。	<u>学生への就職・進学支援</u> １・２年に対する就職支援 ３月に学内で就職説明会を実施している。 ３年生に対する就職・進学指導 個別の相談　面接の受け方　履歴書の書き方 論文対策を実施している。 <u>学生へ紹介している奨学金</u> 学校独自の奨学金制度 大浜方栄奨学金 成績人物ともに優秀な学生に与えられる その他の奨学金制度 日本学生支援機構 沖縄県看護師修学資金 教育訓練給付金 高等職業訓練促進給付金

5-16　就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	①就職など進路支援のための組織体制を整備しているか ②学年担当教員と就職担当事務など学内における連携体制を整備しているか ③学生の就職活動の状況を学内で共有しているか ④関連する病院と就職に関する連携体制を構築しているか ⑤就職説明会等を開催しているか ⑥履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導をしているか ⑦就職に関する個別の相談に適切に応じているか	3	①②③３学年担当教員と就職担当事務職員は連携しており、教職員は情報を共有している。 ④2 月に学生の情報交換会を実施した（1 施設） ⑤1,2 年生対象マイナビガイダンス実施。2 年生のみ県内就職説明会実施した。 ⑥⑦3 学年教員を中心に実際の場面を想定し面接の受け方などを指導している。履歴書、論文、エントリーシートの書き方を指導している。全教員で支援している。		④⑤希望施設は個別対応（パンフレット送付）とし、学生への情報提供を行う。	学生進路一覧 就職説明会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学年担当教員と就職担当事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況は学内で共有している。 3 月に１・２年生対象に就職説明会を開催している。3 年生には面接の受け方をはじめ具体的な就職指導をしており、就職に関する個別の相談に適切に応じている。また全教員で履歴書、論文、エントリーシートの書き方を指導する体制を整えている。今年度は、マイナビガイダンスも実施した。	

5-17　中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1　退学率の低減が図られているか	①中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか ②指導経過記録を適切に保存しているか ③中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか ④退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	3	①②学年担当教員や学校長が個人面接を行い、退学理由は明確にしている。面接記録は個人票に保存してある。 令和２年度退学者はいない。 ③④学年担当は個々に合わせてきめ細やかな対応をしている。おもと会の「心と体のヘルスケアセンター」も活用出来る。			過去 3 年間の退学者数・退学率 過去３年間の入学者、退学者、休学者、在籍者数 個人面談資料 心と体のヘルスケアセンター案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の退学要因、退学者数および理由は把握している。退学までには学年担当や学校長が保護者を交えて面接を実施しており面接記録は保管している。退学を決定するまでの悩んでいる時期におもと会の「心と体のヘルスケアセンター」の活用など第３者の支援が受けられることも伝えている。 個々に合わせてきめ細やかな対応をしている。	

5-18　学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	①専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか ②相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか ③学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか ④相談記録を適切に保存しているか ⑤関連医療機関等との連携はあるか	3	①おもと会「心と体のヘルスケアセンター」が設置されており、4 月に学生全員へセンターの役割機能や担当者を紹介している。4 月に学年担当教員は学生全員の個人面談を行い学業に対する不安など学生の状況を把握している。 ②③学内に専用の相談室の設置はないが教員は場所や時間を工夫しながら面談を行っている。 ④面談記録は個人票に保管している。 ⑤センターでは相談内容に応じ適時医療機関を薦めている。	②③教務室に直接相談しにくい環境がある。	②③学生が相談しやすい環境整備が必須。 (専任カウンセラーの常駐等) 教員全体で情報共有する体制づくり。 相談していいことを入学時オリエンテーションで伝えていく。	教育事業計画書 心と体のヘルスケアセンター案内 個人面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
おもと会「心と体のヘルスケアセンター」が設置されており、4 月に学生全員へセンターの役割機能や担当者を紹介している。学年担当教員は 4 月に学生全員の個人面談を行い学生個々の状況を把握している。学内に専用の相談室の設置はないが教員は場所や時間を工夫しながら面談を行っている。面談記録は個人票へ保管している。 センターでは相談内容に応じ適時医療機関を薦めている。	

5-19　学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1　学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	①学校独自の奨学金制度を整備しているか ②学費の減免、分割納付制度を整備しているか ③大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか ④全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか ⑤公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか ⑥全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	①④⑤ 学校独自の奨学金制度 　大浜方栄奨学金制度 その他の奨学金制度 　日本学生支援機構 　沖縄県看護師修学資金 　教育訓練給付金 　高等職業訓練促進給付金 ②校納金滞納者に対して個別相談に応じている。 ③大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度は整備されている。 ⑥学生の支援制度利用実績は把握している。			学生募集要項 奨学金案内 学生便覧
5-19-2　学生の健康管理を行う体制を整備しているか	①学校保健計画を定めているか ②学校医を選任しているか ③保健室を整備し専門職員を配置しているか ④定期健康診断を実施して記録を保存しているか ⑤有所見者の再健診について適切に対応しているか	3	①定期健康診断、予防接種計画を定めている。 ②おもと会医師が学校医となる。 ③保健室は整備しているが専門職員は配置していない。 ④定期健康診断の記録は本人と学校で保管している。各学年の健康管理委員の教員が中心となり対応している。 ⑤有所見者への対応は各学年の健康管理担当教員が丁寧に行っている。	③保健室の専任者の配置は無いが学年担当教員が対応している。	③専任の配置はないが教職員で協力しながら対応していく。	学生便覧 健康管理ハンドブック 教育事業計画書 保健室利用記録 心と体のヘルスケアセンター資料

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2　続き	⑥健康に関する啓発及び教育を行っているか ⑦心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか ⑧近隣の医療機関との連携はあるか		⑥学生へは入学前から健康管理ハンドブックを配布・説明を実施し健康管理を意識づけている。 ⑦⑧おもと会「心と体のヘルスケアセンター」にて専任の医師、臨床心理士、保健師が相談に応じている。必要時、医療機関に繋げている。			
5-19-3　生活環境支援体制を整備しているか	①遠隔地から就学する学生のための支援体制はあるか	4	①寮は完備していないが不動産情報を紹介している。1 年生に対して与那原警察署員による生活安全講習会を実施している。	①令和２年度は実施していない。		学校案内 生活安全講習会資料
5-19-4　課外活動に対する支援体制を整備しているか	①クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか ②補助金の交付等具体的な支援を行っているか	3	①教員が顧問となっている。 ②クラブ活動承認に応じて学生後援会から補助金が支給される。	①教員はクラブ活動等の団体の活動状況を把握していない。	①クラブ活動の状況を教員が把握できるような取り組みが必要。	学生後援会資料 学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済面で相談のあった学生には、各奨学金の紹介や、個別相談に応じている。学生の支援制度利用実績は把握している。また、大規模災害発生時及び家計急変時等に対する支援制度も整備されている。 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に対応して定期健康診断、予防接種計画を定めており、記録は本人と学校で保管している。学校医はおもと会医師が担当しており、有所見者への対応は各学年の健康管理担当教員が行っている。学生へは入学前から健康管理ハンドブックを配布し健康管理を意識づけている。遠方の入学生には不動産情報を提供している。クラブ承認に応じて学生後援会から補助金が支給される。	学生へ紹介している奨学金 学校独自の奨学金制度 大浜方栄奨学金制度 その他の奨学金制度 日本学生支援機構 沖縄県看護師修学資金 教育訓練給付金（厚） 高等職業訓練促進給付金

5-20　保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1　保護者との連携体制を構築しているか	①保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか ②学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか ③緊急時の連絡体制を確保しているか	3	①入学式後に保護者に向けて教育課程や卒業要件などに関する説明会を行っている。 毎年、学生後援会総会を実施しており意見をうかがっている。 ②学力不足、心理面等の問題解決にあたっては保護者との連携を密にしている。 ③緊急時の連絡先は確保している。	③問題発生時の教員間での具体的な連絡方法（アルゴリズム）が整っていない。	③図式化で全体周知ができるよう作成する。 具体的に緊急時、学生情報把握ができるようにする。	学生便覧 学生後援会資料 三者面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との連携に関して入学式後に教育課程や卒業要件などに関して説明会を行っている。毎年、学生後援会総会を実施しており意見をうかがっている。 学力不足、心理面等の問題解決にあたっては保護者と適切に連携している。緊急時の連絡先は確保しており、教職員はいつでも確認できるよう保管している。	

5-21　卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	①同窓会を組織し、活動状況を把握しているか ②再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか ③卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4	①同窓会活動の活性化に向けて取り組み中。 ②再就職やキャリアアップ等についての相談は個別に対応している。 ③卒業後の研究活動に対する支援は行っていない。			同窓会関連資料 卒業後の資格･免許取得一覧
5-21-3－①　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	①社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか	4	①入学前の履修科目に対して学則に従って単位認定をしている。			学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への支援体制として同窓会は結成されているが全体の活動は停滞している状況である。卒業式には卒業生に対し同窓会から祝いの言葉と記念品がプレゼントされる。同窓会は過去２回開催された。現在、組織を活性化させるために同窓会に働きかけている。 卒業生の再就職やキャリアアップ等についての相談には個別に対応している。研究活動に関しては各職場の支援が受けられる体制が整っている。 社会人入学生の入学前の履修科目に対して学則に従って単位認定をしている。	

基準６　教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校施設・設備・機器類は設置基準、関係法令を遵守し充実している。学生の休憩・食事は教室を使用している。しかし、更衣室が３か所設置されているが、環境調整が必要な状況である。　施設内はバリアフリー化に取組んでおり、手洗い設備など衛生管理は徹底している。卒業生は申請により施設・設備を活用できる。施設・設備等は日常点検や定期点検を行い適時補修している。 実習環境として臨地実習の意義や教育課程上の位置づけを実習要綱に明示している。実習施設で実習協議会を持ち指導者と連携している。また、実習成績評価は評価基準を明確にし教育効果を確認している。 学校行事は学生会を中心に学生主体で行っている。 防災に関しては、学校防災計画、消防計画や災害発生時における具体的行動マニュアルを整備している。施設・建物・設備は耐震化に対応している。また消防設備等の整備及び保守点検は法令に基づき行い、年１回東部消防署の協力のもと防災訓練を実施し助言を受けている。本棚などの転倒防止対策は実施している。学校の安全管理として、学生の生命と学校財産を加害者から守るために防犯体制を整備し、学内では名札着用を義務付けている。実習室の薬品など危険物は鍵付き収納庫へ保管している。実習中の災害発生時の避難マニュアルは全施設で完成し実施している。学生と教員は全員総合補償制度（WILL）へ加入している。 <u>課題</u> ①　教職員・学生への防災教育は不十分である。 ②　授業中の事故に対するマニュアルが必要である。 　　また、学生を含めた実施研修会が必要である。 ③　具体的行動マニュアルの活用がされていない	①教職員および学生に対して防災教育を実施する。 ②防災・減災委員会の立ち上げ。 授業中の事故に対するマニュアル作成及び学生を含めた実施研修会の計画・実施する。 ③災害時における具体的行動のリーフレットを作成し、常時掲示板に掲示する。	

6-22　施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	①施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか ②図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか ③図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか ④学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか ⑤施設・設備のバリアフリー化に取組んでいるか ⑥手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか ⑦卒業生に施設・設備を提供しているか ⑧施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか ⑨施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	3	①③施設・設備・機器類は設置基準、関係法令を遵守し充実している。 ②更衣室が 3 か所設置されているが、環境調整が必要な状況である。 ④学生の休憩・食事は教室及び 6 階ホールを利用している。 ⑤施設・設備のバリアフリー化に取組んでいる。 ⑥手洗い設備など衛生管理は徹底している。 ⑦卒業生は申請により無料で施設・設備を活用できる。 ⑧⑨施設・設備等は日常点検や定期点検を行い順次計画的に補修している。	④6 階ホール（共有スペース）の清掃が徹底されない。 ⑧実習室物品棚のガラス扉に不具合が生じている。	④共有スペースの清掃方法の工夫。可能であれば共有スペースは業者に依頼したい。（学習している中での清掃は困難である）	学生便覧 メンテナンス契約書 施設整備計画書 事務職員職務文書 施設・設備の改築・改修・更新計画と実施状況

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備・機器類は設置基準、関係法令を遵守し充実している。 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定めている。	

6-23　学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1　臨地実習実施体制を整備しているか	①臨地実習について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか ②臨地実習について、実施要綱･マニュアルを整備し、適切に運用しているか ③臨地実習について、成績評価基準を明確にしているか ④臨地実習について実習施設の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか ⑤臨地実習の教育効果について確認しているか ⑥学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか ⑦卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	4	①②臨地実習の意義や教育課程上の位置づけは明確であり、実習要綱を整備している。 ③⑤臨地実習の成績評価は基準を明確にしており教育効果を確認している。 ④実習施設で実習協議会を持ち指導者との連携は密にしている。 ⑥学生は学校行事に積極的に参加している。学園祭などは学生会を中心に運営している。 ⑦学校行事は年間計画一覧で周知すると共にホームページで案内している。			学生便覧 シラバス 実習要綱 実習協議会議事録 学校ホームページ 学校行事 　入学式 　植樹祭 　新入生歓迎球技大会 　オープンキャンパス 　学園祭 　卒業式

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨地実習の意義や教育課程上の位置づけを明確にしており、実習要綱を整備している。実習施設で実習協議会を持ち指導者との連携は密にしている。臨地実習の成績評価は基準を明確にしており教育効果を確認している。	

6-24　防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1　防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	①学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか ②施設・建物・設備の耐震化に対応しているか ③消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか ④防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか ⑤備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか ⑥教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	3	①学校防災計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している。 ②施設・建物・設備の耐震化は確認している。 ③消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応している ④防災訓練を定期的に実施し記録を保存している ⑤本棚などの転倒防止対策は教務室から順次実施している。 ⑥教職員・学生への防災教育は不十分である。	①具体的行動マニュアルの活用がされていない ⑥教職員および学生に対して防災教育の充実が必要である。	①活用できるリーフレットを作成し、常時掲示板に掲示する。 ⑥教職員および学生に対して防災教育をする。 防災・減災委員会の立ち上げ。	学校安全計画 消防計画 防災訓練実施要領･実施記録･結果･防災教育の実施結果 災害時の対応マニュアル 防災･防犯体制チェック結果 危険物等の安全管理状況 消防等安全管理設備一覧 保守点検委託契約書･点検結果･改善報告
6-24-2　学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	①学校安全計画を策定しているか ②学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか ③授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	3	①学校安全管理委員会が中心となって計画し、毎月点検改善している。 ②学生の生命と学校財産を加害者から守るために防犯体制を整備し、名札着用を義務付けている。 ③授業中に発生した事故に対しては、教職員の実施研修会を開催したがマニュアルは作成されていない。	③授業中の事故に対するマニュアルが必要である。また、学生を含めた実施研修会が必要である。	③学校安全管理委員会が中心となり計画調整し実施する。	学校安全計画 災害時の対応マニュアル 防災･防犯体制チェック結果 時間外は管理会社委託

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	④薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか ⑤担当教員の明確化など臨地実習等の安全管理体制を整備しているか		④実習室の薬品などは鍵付き保管庫へ保管している。 ⑤実習担当教員は明確であり整備されている。	④廃棄物の適切な処理方法		実習要項 実習担当教員配置表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に対する組織体制は整備され適切に運営されている。学校防災計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルは整備されている。施設・建物・設備は耐震化に対応している。また消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い適切に対応している 年１回東部消防署の協力のもと防災訓練を実施し助言を受けている。本棚などの転倒防止対策は実施している。教職員・学生への防災教育は不十分な状況であり今後学習会が必要である。 学校安全対策に関しては学校安全管理委員会が中心となって計画し、毎月点検改善を行っている。学生の生命と学校財産を加害者から守るために防犯体制を整備し、学内では名札着用を義務付けている。授業中に発生した事故に対してはマニュアルや学生を含めた実施研修会が必要である。 また、実習室の薬品などの危険物は鍵付き収納庫へ保管している。 実習中の災害発生時の避難マニュアルは全施設で完成し実施している。 学生と教職員は総合補償制度（WILL）へ加入している。	

基準７　学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集に関して、学校説明会を開催し「学校案内」を作成している。また、教職員は高校主催の職業教育や学校説明会で看護職や教育課程について説明している。 高校の教員や入学希望者、保護者に向けた学校案内の広報としてホームページにブログを掲載し学校の様子が伝わるように工夫している。ブログは、教員と事務が連携することにより、定期的に更新を行うことが出来ている。また、SNS を活用した情報発信を実施できている。ホームページはスマホにも対応している。 また、オープンキャンパスでは、模擬授業や在学生から直接学生生活を聞けるような工夫を行っている。志願者等からの入学相談には丁寧に対応しており、「学校案内」等で特徴ある教育活動や学修成果について紹介している。 入学試験に関しては県内看護系大学 3 校、専門学校 4 校の入試計画を把握し本校の入学試験を計画している。 入学選考基準や方法は、規程で明確に定めており適切に行っている。受験者数・受験倍率・合格率・辞退率のデータは適切に管理している。 学納金の内容は明確にし、学納金等徴収する金額はすべて募集要項に掲載している。また、文部科学省通知に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱は、募集要項等に明示し返還している。		教職員の学生募集活動 学校案内パンフレットの作成 学校ホームページ（ブログ・SNS 発信・Web 活用） 学校説明会（高校の進路担当教員、塾講師） オープンキャンパス（2 回） 学内で高校生へ学校案内と職業体験 各高校で職業教育 各高校で職業体験 各高校で学校説明会

7-25　学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1　高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	①高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか ②高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか ③教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	4	①教職員は高校主催の職業教育で授業を、学校説明会でガイダンスを行っている。 ②５月に高等学校の進路担当教員や進学塾講師等を招いて学校進学説明会を実施し教育活動等の情報提供を行っている。 ③教員や入学希望者又は保護者に向けて「学校案内」を作成している。学校ホームページを適時更新しておりブログは学校の様子が伝わるので効果的である。 スマホ対応している。	①一部オンライン進学説明会を実施した。 ②今年度はコロナ禍の為、急遽、ホームページにオンライン学校説明会のページを新設し、WEB 上で学校説明会を行った。		学校案内 学校説明会資料 進学ガイダンス実績 オープンキャンパス２回（個別相談会へ変更） 高校の職業教育４校 広域ガイダンス 42 回 延べ人数 902 人
7-25-2　学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	①入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか ②志願者等からの入学相談に適切に対応しているか ③学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか	4	①県内看護系大学３校、専門学校４校の入試計画を把握し本校の入学試験を計画している。 ②志願者等からの入学相談には丁寧に対応している ③学校案内等で特徴ある教育活動や学修成果について正確に分かりやすく紹介している。 ④ホームページ更新・動画作成			学生募集要項 学校案内 学校紹介ムービー 看護職職業理解ミニパンフレット オープンキャンパス資料

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2　続き	④広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか ⑤オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか		④広報活動や学生募集活動に関する情報管理は担当事務が管理している。 ⑤オープンキャンパスは年2回開催している。看護体験や教科書紹介の外に模擬授業や在学生から直接学生生活を聞けるようなコーナーを設置している。	⑤今年度はコロナ禍の為、急遽、ホームページにWEBオープンキャンパスのページを新設し、WEB 上で学校紹介を行った。併せてオンライン個別相談会と感染対策を講じた少人数制の個別相談会を実施した。		対面式相談会 12 回（100名） オンライン相談会 9 回（16名）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員は高校主催の職業教育や学校説明会に出向いて説明している。年 1 回、高等学校の進路担当教員や進学塾講師等を招いて学校進学説明会を実施し教育活動等の情報提供を行っている。また、教員や入学希望者又は保護者に向けて「学校案内」を作成している。学校ホームページのブログを適時更新しており学校の様子が伝わるのでより効果的である。また、SNS を活用し情報を発信することにより、ホームページへの誘導も実施出来ている。スマホにも対応している。 入学試験は県内看護系大学 3 校、専門学校 4 校の入試計画を把握し本校の入学試験を計画している。志願者等からの入学相談には丁寧に対応しており、学校案内等で特徴ある教育活動や学修成果について正確に分かりやすく紹介している。広報活動や学生募集活動に関する情報管理は担当事務職員が管理している。オープンキャンパスは年 2 回開催している。看護体験や教科書紹介の外に模擬授業や在学生から直接学生生活を聞けるようなコーナーを設置している。	今年度はコロナ禍の為、急遽、校内説明会をオンラインへ変更したり、ホームページに「オンライン学校説明会」と「WEB オープンキャンパス」のページを新設し、WEB 上で学校紹介を行った。併せてオンライン個別相談会と感染対策を講じた少人数制の個別相談会を実施した。

7-26　入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1　入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	①入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか ②入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか ③入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	4	①②入学選考基準や方法は、規程で明確に定めており、規程に基づき適切に行われている。 ③合否判定は判定会議で決定し入学選考の公平性を確保している。			学生便覧 入試規程 入学試験計画･実施資料 合否判定会議資料
7-26-2　入学選考に関する実績を把握し､授業改善等に活用しているか	①受験者数・受験倍率・合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか ②入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか ③応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか ④財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4	①受験者数・受験倍率・合格率・辞退率のデータは適切に管理している。 ②入学者の傾向について把握し、授業方法の検討資料としている。 ③④応募者数・入学者数の予測数値を算出しており、財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っている。			入学者データ推移 応募者数 合格者数 合格率 辞退率

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考基準や方法は、規程で明確に定めており適切に行われている。合否判定会議を持って決定し入学選考の公平性を確保している。受験者数・受験倍率・合格率・辞退率のデータは適切に管理している。受験に関して財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っている。	

7-27　学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1　経費内容に対応し、学納金を算定しているか	①学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか ②学納金の水準を把握しているか ③学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	①③学納金の内容は明確で、学納金等徴収する金額はすべて募集要項に掲載している。 ②学納金は県内の看護専門学校５校の水準を把握している。			学生募集要項 学生便覧
7-27-2　入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	①文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	①文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、入学辞退者には授業料の返還を行っている。			募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経費内容に対応し、学納金を算定している。学納金の内容は明確にし、学納金等徴収する金額はすべて募集要項に掲載している。また、学納金は県内の看護専門学校５校の水準を把握している。 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、入学辞退者には授業料の返還を行っている。	

基準８　財　務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
新型コロナウィルス感染症拡大により、予算未執行と予算外費用が発生する事もあったが、防止策に取り組み順調に運営する事ができた。 学校法人は安定した財務状況である。中長期的に学校の財務基盤は安定しており、適切に会計監査を受けている。また、私立学校法に基づく財務情報については、当校ホームページで公開している。 学生募集においては、３年ぶりに目標値の受験者数を確保することができた。		事業活動収支計算書の作成（月次） 経営会議（経営戦略会議４半期に１回）

8-28　財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1　学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	①応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか ②収入と支出はバランスがとれているか ③貸借対照表の翌年度繰越収支差額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか ④事業活動収支計算書の当年度収支差額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか ⑤設備投資が過大になっていないか ⑥負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4	①応募者数・入学者数の推移は資料にしている。 ②収支のバランスはとれている。 ③翌年度繰越収支差額はプラスである。 ④当年度収支差額はプラスである。 ⑤設備投資は適切である。 ⑥負債は無い。			法人寄付行為 決算理事･評議員会資料
8-28-2　学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	①　最近 3 年間の収支状況（事業活動収支・資金収支）による財務分析を行っているか ②最近 3 年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4	①事業活動収支・資金収支等の資料を月次作成、４半期に１度、法人本部と協議し分析している。 ②財産目録・貸借対照表も適宜分析を行っている。公認会計士へも確認している。			法人寄付行為 決算理事･評議員会資料 経営会議資料

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2　続き	①最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか ②キャッシュフローの状況を示すデータはあるか ③教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか ④コスト管理を適切に行っているか ⑤収支の状況について自己評価しているか ⑥改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか		①負債はない。 ②月次で収支計算書を作成している。 ③比率は適切な数値だと考える。 ④光熱費の省エネに努めて物品購入等は予算内での費用管理を徹底努力している。 ⑤⑥収支状況は経営会議資料を毎月作成している。法人本部と協議し改善が必要な場合において、改善計画を策定している。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経営状態は順調に推移している。 収入においては、目標数値となる受験生の安定的な確保をめざす。	特になし。

8-29　予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1　教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	①予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか ②予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	①予算編成に際して、教育目標、教育事業計画との整合性を図っている。 ②予算の編成過程及び決定過程は明確になっている。			法人寄付行為 予算理事･評議員会資料 2020 年度予算書
8-29-2　予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	①予算の執行計画を策定しているか ②予算と決算に大きな乖離を生じていないか ③予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか ④経理規程を整備しているか ⑤予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理行っているか	4	①②予算を立てて大半は計画どおり執行している。(修繕については計画を大きく超過している) ③予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っている。 ④経理規程は整備されている。 ⑤予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理行っている。			法人寄付行為 予算理事･評議員会資料 2020 年度予算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校法人は安定した財務状況である。中長期的に学校の財務基盤は安定しており、適切に会計監査を受けている。	特になし。

8-30　監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1　私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	①私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか ②監査報告書を作成し理事会等で報告しているか ③監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか ④監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4	①私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施している。 ②監査報告書を作成し理事会等で報告している。 ③監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施している。 ④監査時における改善意見について記録し、適切に対応している。			法人寄付行為 決算理事･評議員会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年間スケジュール表に基づき、監査法人の公認会計士による監査が適時実施されている。	特になし。

8-31　財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1　私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	①財務公開規程を整備し、適切に運用しているか ②公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか ③財務公開の実績を記録しているか ④公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取組んでいるか	3	私立学校法第４７条第２項に基づいた規程を整備し、それに従って以下の情報を公開している。 １．財産目録 ２．貸借対照表 ３．資金収支計算書 ４．事業活動収支計算書 ５．事業報告書 ６．監査報告書 これ以外にもホームページ上に情報公開のページを設け、積極的に情報を公開している。			法人寄付行為

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法に基づく財務情報については、当校ホームページで公開している。	特になし。

基準９　法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令の設置基準に基づき、学校運営及び諸届等を適切に行っている。また学校運営に必要な規則･規程等を整備し適切に運用している。 学校安全委員会でハラスメント等の防止の方針を明確化し対応マニュアルを修正している段階である。教職員、学生に対してコンプライアンスに関する相談窓口は設置されている。また、教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っている。 個人情報保護に関しては、取扱方針・規程を定めており、学生･教職員・非常勤講師は個人情報保護に関する承諾書を提出している。情報の取り扱いと危険性、個人の責任についての意識を高めることを目標に情報科学の講義を実施。今後は実習中の個人情報保護の取り扱いの強化を図る。 平成 18 年度から学校自己点検自己評価に取り組んできた。平成 28 年度以降は学校関係者評価委員会も開催し新たな視点での評価を頂き学校の質の向上に努めている。評価結果は報告書に取りまとめホームページで公表している。 <u>課題</u> ①ハラスメント防止マニュアルを修正段階。今後順次運用に向けて取り組む。 ②個人情報保護に関して学生の意識づけを強化する取り組みが必要。	①「ハラス実メント防止ガイドライン」の勉強会を３月に実施予定。 ②現状を把握している段階のため、今後の取り組みについて検討し順次学生へ周知徹底できるように働きかける。	

9-32　関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1　法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	①関係法令の設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか ②学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか ③セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか ④教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか ⑤教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	4	①②関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ている。運営に必要な規則･規程等は整備し適切に運用している。 ③ハラスメント防止の方針を明確化し対応マニュアルを作成中。３月に学習会予定である。 ④教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口は設置されている。また、投書箱を設置し匿名の学生に対しても対応している。 ⑤教職員、学生に対し、法令遵守に関する学習会や教育を行っている。	③現在ハラスメント防止マニュアル修正段階である。今後活用に向けて検討していく。	③教員向け学習会の実施	保健師助産師看護師学校養成所指定規則 法人寄付行為 理事会･評議委員会記録 学生便覧 教育事業計画書 ハラスメントに関するマニュアル ・セクシュアル ・パワー

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令の設置基準に基づき、学校運営を行い必要な諸届等は適切に行っている。学校運営に必要な規則･規程等を整備し適切に運用している。学校安全委員会でｾｸｼｬﾙﾊﾗｽﾒﾝﾄ、ﾊﾟﾜｰﾊﾗｽﾒﾝﾄ等の防止のための方針を明確化し対応ﾏﾆｭｱﾙを現在修正し作成途中である。今後活用に向けて、学習会等を順次行っていく。教職員、学生に対しｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽに関する相談窓口は設置されている。教職員や学生に対し、法令遵守に関する学習会や教育を行っている。	

9-33　個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1　学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	①個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか ②大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか ③学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか ④学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4	①②個人情報保護規定を定め適切に運用している。また、学籍管理簿に関しても教員ごとにパスワードを設定している。 ③学校のホームページは管理会社と提携し情報管理を講じている。 ④学生･教職員･非常勤講師は個人情報保護に関する承諾書を提出している。	④学生の実習中における個人情報保護に関する SNS に投稿する事案が発生している。	④学生の現状を把握し課題解決に向けての取り組みを検討し強化する。	学生便覧 実習要綱 個人情報保護規定 個人情報保護同意書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護に関する取扱方針・規程を定めており、学生・教職員・非常勤講師は承諾書を提出している。学校のホームページは情報漏えい等の防止策を講じている。情報の取り扱いと危険性、個人の責任についての意識を高めることを目標に情報科学の講義を実施。今後は実習中の個人情報保護の取り扱いの強化を図る。	

9-34　学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1　自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ②実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全教職員で取組んでいるか ③評価結果に基づき、学校改善に取組んでいるか	4	①②学則及び規程、組織体制を整備し、全教職員で取組んでいる。 ③評価結果に基づき、目標、具体策をたて学校改善に取組んでいる。			学生便覧 学校評価報告書 学校関係者評価委員会議事録 ホームページ
9-34-2　自己評価結果を公表しているか	①評価結果を報告書に取りまとめているか ②評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	①②評価結果は報告書に取りまとめホームページに掲載している。			
9-34-3　学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ②実施のための組織体制を整備しているか ③設置課程に関連業界等から委員を適切に選任しているか ④評価結果に基づく学校改善に取組んでいるか	4	①②学則及び規程、組織体制を整備し、全教職員で取組んでいる。 ③④関連業界の方に委員を依頼し意見を頂いている。また、評価結果に基づき、目標、具体策をたて学校改善に取組んでいる。			
9-34-4　学校関係者評価結果を公表しているか	①評価結果を報告書に取りまとめているか ②評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	①②評価結果は報告書に取りまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに掲載している。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 18 年から学校評価に関する学則及び規程や組織体制等を整備し、毎年全教職員で実施している。また、評価結果に基づき、目標、具体策をたて教職員全員で学校改善に取組んでいる。 平成 28 年度から学校関係者に評価委員を依頼し、学校関係者評価委員会を開催している。新たな視点での評価は学校の質を高めることに繋がる。評価結果は報告書に取りまとめホームページで公表している。	

9-35　教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1　教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	①学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか ②学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4	①②学校の教育理念、教育目標・目的、卒業生像など概要、教育内容はホームページで公開している。また、学生生活や学校行事、授業風景なども学校ブログで公開している。			学校案内 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の概要や教育内容、学校行事や、学生生活や学校行事、授業風景なども学校ブログで公開している。	

基準１０　社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校は、実習病院や他養成校、看護系大学、沖縄県と連携しながら運営している。学生の就職に関しては実習病院を中心として沖縄県内の医療施設に貢献できるよう就職指導をしている 　学校施設・設備等は地域・関連業界等・卒業生に開放している。また、高等学校が行うキャリア教育の授業に教職員を派遣し協力支援している。社会環境問題への意識づけとして節電や節水などの省エネ対策や、学内外の清掃活動などを行っている。また、教職員・学生に対し、SNS 等情報化社会の中での個人情報保護に関する教育を行っている。学生ボランテイア活動に関しては、医療・福祉関連の施設や、地域活動として推奨しているが、今年度は十分な実施に至らず。学生の活動実績は把握し記録として保存している。		教員による職業講話「看護師への道」 高校主催 5 校（内教員 5 校）57 名受講

10-36　社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1　学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	①産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか ②企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか ③国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか ④学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか ⑤高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか ⑥学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか ⑦地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか ⑧環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか ⑨教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか	4	①②③実習病院や各専門学校、看護系大学、沖縄県と連携しながら運営している。就職に関しても実習病院を中心とした沖縄県内に貢献できるよう就職指導をしている ④学校施設・設備等は地域・関連業界等・卒業生等に開放している。 ⑤⑥高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣し、学内での職業教育も協力・支援している。 ⑦「生涯学習講座」は依頼がある時に開講している。 ⑧節電や節水などの省エネ対策や、学内外の清掃活動などを行っている。 ⑨教職員・学生に対し、SNS 等情報社会に関する教育を行っている。			学生便覧 修学支援 　教育訓練給付金 　高等職業訓練促進給付金 施設使用規定 県内就職説明会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習病院や各専門学校、看護系大学、沖縄県と連携しながら運営している。就職に関しても実習病院を中心とした沖縄県内に貢献できるよう就職指導をしている。 学校施設・設備等は地域・関連業界等・卒業生等に開放している。また、高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣し、学内での職業教育も協力支援している。 節電や節水などの省エネ対策や、学内外の清掃活動などを行っている。 教職員・学生に対し、SNS 等情報社会に関する教育を行っている。	

10-36-2　国際交流に取り組んでいるか

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2-①	①海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか。 ②海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか。		①方針は具体的に定められていない。 ②実施なし。			
10-36-2-②	①海外の教育機関と留学生の受け入れ、派遣、研修の実施など交流をおこなっているか。 ②留学生の受け入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか。 ③留学生の受け入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか。		①②③なし			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後、海外の教育機関と留学生の受け入れ、派遣、研修の整備などの必要性について検討する。	

10-37　ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課　　題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1　学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	①ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか ②活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか ③ボランティアの活動実績を把握しているか ④ボランティアの活動実績を評価しているか ⑤ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	①医療・福祉関連の施設や、地域活動としてボランティアを推奨しているが、コロナ禍において十分な活動に至らず。 定期的に、献血協力等への参加を奨励している。 認知症サポーターを育成に取り組んでいる。 学校周辺の清掃活動を継続している。 ②③④支援体制は整備され活動実績の把握、活動実績を評価している。 ⑤ボランティアの活動結果は学内で共有している。			学生便覧 ボランテイア証明書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生のボランティア活動や地域での活動を支援している。医療・福祉関連の施設や、地域活動としてボランティアを推奨しているが今年度は十分に実施に至らず。また学校周辺の清掃活動を継続している。 学生の活動実績は把握し記録として保存される。	

4　令和２年度重点目標達成についての自己評価

令和２年度重点目標	達成状況	今後の課題
１．本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 豊かな知性、感性、強い意志のある人間を育む ２．教育目標の達成 ３．学生の臨地実習環境の整備 ４．国家試験全員合格への支援…目標 100%合格 ５．学校運営の安定 ６．学生へのサービスの充実	１．本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 日常の学生生活指導の中で、「知性及び感性を磨くこと」、「疑問を持つこと」、「自己の意志決定を明確にできること」そして「倫理観に基づく行動をとること」は学年目標を意識しながら習慣づけるよう支援した。卒業生像を達成するための学年計画は実施できた。 ２．教育目標達成のための努力 １）学生の主体的な学びを育むための教育方法の充実 プロジェクト学習やシミュレーション教育、協同学習は各学年、各領域で実施された。 ２）非常勤講師の安定的確保及び継続困難時を想定した対応 教員の変更はあったが教育計画は滞りなく終了した。 ３）教員の資質向上のための研修 日本看護協会学術集会をはじめ各種看護学会や、沖縄県看護教育協議会の専任教員再教育研修へ参加し自己研鑽に努めた。 ４）教職員の職責及び職務分掌の実践と評価 教職員は職務分掌に基づき職責を果たした。 ５）教員のモチベーションアップのための目標管理の実施および評価 全教員がビジョンゴールの実施及び評価、学校長面談を行った。 ６）専任教員及び実習指導教員の安定的充足 専任教員は年間を通してほぼ充足された。 実習指導教員は大浜第一病院からの出向で 2 名充足された。 ３．学生の臨地実習環境の整備 実習施設及び実習指導体制は安定しており年間実習計画は終了した。 ４．国家試験全員合格への支援…目標 100%合格 各学年の国家試験対策は予定通り終了した。国家試験専門業者の講習会は学生後援会の支援で実施した。国家試験合格率は　　%だった。 ５．学校運営の安定 定員を確保し予算すなわち決算を遵守し運営は安定している。学校関係者評価を行い教育の質の向上に努めるとともに結果を公表する。 ６．学生へのサービスの充実 行動や学力、健康維持に課題のある学生に対しては家族と連携しながら支援を続け学生の課題は解決された。 学生の安全を守る為に、SNS に関する注意喚起、防災訓練や交通安全･生活安全対策を実施した。 3 年生への進路相談、面接練習や履歴書記入などは個別に対応した。 3 月の就職説明会は感染対策を講じながら県内施設のみ実施した。	